



今月の援農状況

Let's Activate Area **AGRI**

- 例年どおり 田植えの応援作業依頼をいただきました。高月町一帯に青々とした水田風景がひろがりました。
- 下旬には 早くも ブルベの収穫作業がはじまりました。
- 例年以上の作業依頼をいただき 梅雨時の天候不順による予定変更も重なり事務局は多忙な月間となりました。



援農体験記 “なんでこうなるの” 狭間町 水島美登利

「こんにちは〜」すずらん畑脇の歩道を行く農家の方とおぼしきおじさんにあいさつをすると 畑に近寄って来られ心配げに「すげえ草だな。もっとちっくい内にとれんもんかい。のこぎり鎌でかじれるから楽だぞ。やりなよ。なんでこんなにでっかくしちまうんだよ〜。」（わかっているんです。はい。人手が足りな…）と言い出そうとする前に今度は笑顔で、「収穫より、まず世話だんべな。愛情をかけてやらんとなあ。」（ははあー。その通りです。）一日に5センチはのびそうなメヒシバやアカザの ” したたか野草軍団 ”。根っこをぐぐっと引っ張り ひよろ長い枝豆とご対面。 ヨッ！



農園・SPP・イベント 便り ☆ 農家の計画・管理・指導もとの主体的な援農作業 ☆ 技術体得・会員交流・遊休地対応の活動



うめの木 ねぎ定植
すずらん じゃが芋



☆力 石

石ころの多い土地ですが 「根菜類のうまさは格別」との評から今年もじゃが芋とさつまを栽培中 — 成果は如何

☆うめの木

新たに耕作応援することになった地の名称。自産のさつま苗と種より育成したねぎの定植を実施。詳細 別途紹介へ。

☆すずらん

玉葱を収穫。作柄不良の報のなか そこそこの良作。さてその要因は？ 多すぎるほど施した堆肥効果か？ じゃが芋の収穫を7月10日に予定。参加を歓迎。施設の方々を 今回も 招待の予定。豊作と当日の好天気を期待。

「農具小屋 雨音高く 夏に入る」 (読売)

傷害保険の紹介

安全確保と傷害対応は 会員各自の自己責任とさせていただきますが、保険加入につきましては 事務局が代行させていただきます。すずしろ22は あいおい損害保険株式会社の「NPO 活動総合保険」に加入しています。被保険者はすずしろ22の会員で、適用範囲はすずしろ22の活動に参加している間です。援農、各種イベント、委託直販作業、学校給食納品業務、会計の振込みなど、自宅を出てから、帰宅するまでの活動時間に適用されます。保証内容は、死亡時 500 万円、入院日額 5000 円、通院 3000 円です。原則として自動車での事故は適用外です。農家の援農に参加した場合、1 時間あたり6円を援農謝礼金から差し引かせていただきます。また、収穫祭などのイベントには100円以下の保険代を徴収させていただきます。農園でのイベントやその他の活動には年度末に保険代を精算させていただきます。



チョッと耳にした情報・アドバイス

(1) 「店産店消」

「地産地消」・「自産自消」・「旬産旬消」等の言葉に続き 最近マスコミで目立ち始めたキーワード。街なかの飲食店の一角で小型プラントで栽培した野菜を提供するとの動き。

(2) コンパニオンプランツ

マリーゴールドをコンパニオンプラントとして育ててきましたが 「うめのき畑」に500株ほど移植。土中のせんちゅう予防等に効果ありとのこと。花もなかなかの風情。

(3) 学校給食へ納品のための「玉葱の皮むき作業」

玉葱の皮むきを実体験したデータ 「20kg の皮むきに要した時間：60分 廃棄した皮の重量：1kg」 — 直販する場合 この時間と除去した重さをどう単価に反映するか。

事務局からのお知らせ 人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

(1) 梅・ブルベの収穫

今年の梅は春先の天候不順に悩まされましたが 農家の収穫のお手伝いに参加していただきました。早くもブルベ収穫もスタートしました。

(2) 市民企画事業の成果発表会

5年連続して企画事業の指定をいただいておりますが 昨年度の報告会が6/5 北野市民センターで開催され 中井・飛田両氏より発表。

(3) NPO による市民農園開設の申請

加住町に 9月1日付で農園を開設させていただくべく市役所・農業委員会に申請中。加住農協の南200mほどの場所。利用料金は2万円/50㎡で 一般募集へ。



<発行 会報紙編集会>

合津 highz_85@cosmos.ocn.ne.jp 飛田 emiko_tobita@ybb.ne.jp 川口 leaf-river-86@nifty.com